

2015⁸月



原水協通信

日本原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

大阪から、15世界大会へ484名代表団

憲法違反の「戦争法案」を全力で廃案にしよう

被爆七〇年、広島・長崎大会二つの成功を！



☆2014年広島大会での全国通し行進者の田中 薫さん(中央・堺市教職員組合)

2015年原水爆禁止世界大会参加の大阪代表団は、四百八十四名に達しました。広島大会には、二百七名、長崎大会には二百七十七名の申込みがあり、「今年是被爆七十年、2015年NPTニューヨーク行動の勢いで二つの大会を成功させよう」の意気込みがこの代表団を作り上げています。今回の代表団の参加者は、ここ数年の最高の数字となっています。阪口伸六・高石市長は、広島大会参加を表明しています

広島大会に
新婦人百二十五名が参加
新婦人大阪府本部は、中央本部の要請に応え、広島大会に参加を集中。府下の各新婦人支部から百二十五名の参加申し込みがあり、独自で広島の宿泊施設を確保するために全力をあげました。
大阪民医連は、八月四日の開会集会を成功させようと、近畿ブロックで四日帰りツアーを計画。大阪民医連から二十一名が参加しました。
八月五日に『高校生平和集会』が計画されていますが、大阪の高校生平和サークル「たこやきからピース」は、先生ふく

長崎大会成功さようと
連日の学習会が続く

ニューヨーク行動での盛り上がり世界大会につなげようと連日、各団体での学習会が続いています。六名参加のヘルスコープおおさかでは被爆者を呼ぶでの学習会。十一名参加の自交総連は佐世保基地調査行動についても学習しました。二十六名が参加する大教組では、「ニューヨーク行動と世界大会」の重要な意義を学習。参加者から「今後の教育実践の中で平和教育をすすめていきたい」などの決意が述べられました。

「国際交流、連帯の輪大きく広がって」

2015「海外代表と語ろう!ピースインおおさか」開かれる

八月一日、大阪グリーン会館で「海外代表と語ろう!ピースインおおさか」が開かれ、アメリカとマーシャル諸島の海外代表二名と参加者六十二名が交流を深めました。核兵器のない世界をつくる運動や安倍内閣の「戦争法案」反対のたたかいなど幅広い討論が展開されました。



☆アバッカ・アンジャインさん
(マーシャル諸島・ロンゲラップ島民代表)
1954年3月1日、水爆実験がビキニ環礁で行われました。ロンゲラップ島は土地も環境も破壊され、健康と生活は損なわれ、人権が侵害され私たちの生活は、まったく変わってしまいました。実験で被ばくした伯父が語ったのは恐ろしい話でした。水爆がさく裂した日、空はさまざまな色に染まり、突然、かみなりのようなごう音が襲いました。間もなく島民全員がやけどやかゆみ、目の痛み、悪寒に苦しむ、米軍基地に。3年後島にもどりましたが、女性は流産をし、男も女もがんで苦しみました……。



☆マデリン・ホフマンさん
(アメリカ、ピース・アクション)
初めての来日で、ワクワク興奮しています。同じピース・アクションの仲間から、日本の平和運動のすばらしさを学習して準備してきました。私たちの団体は、1957年に創設され、アメリカとソビエトとの核軍拡競争への危機感から作られました。この世界大会への参加は、日本の平和運動の素晴らしさである草の根からの平和運動をどう創り上げているのか学びたいと、思っています。安倍さんはウソつきです。「安保法案」は、まさに「戦争法案」です。戦争のない世界をつくるために、共に連帯してがんばりましょう。